グリーンリバーアート

www.gricri.net

in

グリリバinモー娘。文化祭2005　企画Ver1.0
2005.6.21

開催日　2005年10月8日（土）～10日（月・体育の日）
　パシフィコ横浜
　テーマ「あっちい地球を冷ますんだ！」
　主催　アップフロント
　共催　横浜市　日本テレビ

グリーンリバー・アート主催・企画・運営
　グリーン・クリエイターズネットワーク
協力　NPO国産材

G.C.N
Green Creators Network

Green Creators Network

GREEN CREATORS NETWORKは、2001年アースデイ東京を機に、環境・自然保護運動を支援し、また自らも活動してゆく事を主旨として立ち上げられた、アーティストと環境・自然保護活動団体のNGOです。
自らのスキルを環境・自然保護活動に役立てたいクリエイターと、活動中にアート・デザインを取り入れたいNPO・NGOとの出会いの場を提供するとともに、グリーンリバー・アートをはじめとしたアート・イベント、参加型ワークショップを通して一般来場者に環境・自然保護活動に興味を持って頂き、協力・参加していくきかっけ作りを活動の柱にしています。
また、企業、財産法人から環境PRに関わるツールやグッズのクリエイティブ・デザインを受注し、クリエイター同士でワークシェアリングを行いながら収益を活動費用に充てています。

■ 森と水からの声

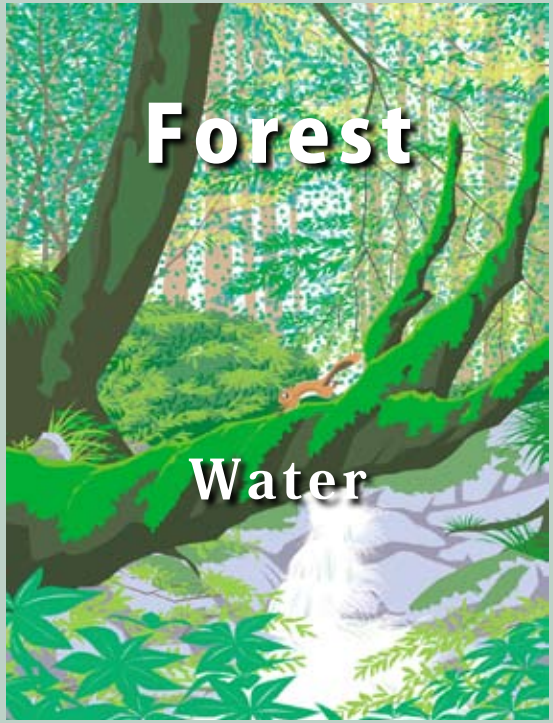
日本はときに海外から「沢山の木があるのに自国の木を大切にとっておき、大量の木を輸入している」と批判を受けることがあります。これは国産材が外国材に押され使われなくなったためです(木材自給率20%以下)。
日本は高度成長期、急激な人工造林をし、その結果、人工林が、総森林面積の約半分を占めるようになりました。
現在、日本では大規模に人工林の間伐(森林を育てるため木を間引くこと)を行ない、その材(間伐材)を積極的に使っていく必要がありますが、国産材の消費量が激減したため、４分の３以上の人工林が荒廃に向かっています。

白神山地や、綾の森などの天然林はそのままにしておくのが一番いいのですが、人工林は天然林とは違って人の手で管理しなければ保全できません。活用されなくなった人工林は、木の枝が伸び放題となって、陽が射さず下草が生えず、病害虫にも弱くなり、土をつかむ根が細り、雨が降るたびに剥き出しの地面は削られます。そのため倒木、土砂崩れ、洪水などの災害も生じやすくなり、やがては山林全体も崩壊し、川と海の生態系をも同時に壊してしまいます。
また、日本の林業就業者は大幅に減少、高齢化しており、労働力確保が困難な状況にあり、林業は山林とともに崩壊ぎりぎりの所まで来ていると言わざるをえません。
森林の木や草と土は地下水に水を導き入れる働きをしているため保水機能が大変大きく、緑のダムと呼ばれ、土砂流失を防止し、災害予防にもなります。日本の林業は先人たちが培ってきた先進的な技術があり、今私たちが日本の森林を活用すれば、森林を守ることが出来ます。

資源に乏しい日本で、木材は例外的に豊富な資源です。山村にとって、豊富な人工林は貴重な財源でもあり、人工林を活用することは、山村の産業振興や地域づくりにもなります。

現在私たちは、日本の森を有効な資源にするか、環境破壊をもたらす厄介な廃棄物の山とするかの岐路に立たされています。

しかしながら一般にはこうした問題に対する危機意識は少なく、国産材を利用する生産・供給体制づくりや消費行動を、一刻も早く広く呼びかけていく必要があります。そして森と川、里、海の環境問題は一心同体であり、本来同時に考えられていくべきものです。



本企画は国産材(間伐材)など、国産の素材を使ってのアート展、森林、水辺などに関する各種団体による展示、ワークショップ、オークション、キッズプレイランド、ミニコンサート、環境に配慮した製品の紹介・販売などの開催を通じて、多くの来場者、参加者に地球環境をめぐる問題に気付いてもらうと同時に、諸団体の交流を深め、地球温暖化と日本の森の関係、森林保全、住環境の改善のための国産素材利用を広く一般に呼びかけるものです。

伐採・出荷の時期を迎えた国内の人工林を活用することで、二酸化炭素を吸収する健全な森林を育むとともに、木製住宅、家具などを何世代にも渡って長期使用していくことは、その樹木が樹齢の分だけ吸収した二酸化炭素を固定することにもつながります。

伐採、植林を繰り返すことで、化石燃料とは比べモノにならない短期間で再生する森。その恩恵を受け、森からの資源を大切に育ててきた人間が森を顧みなくなった時から地球の温暖化が始まったと言っても過言ではありません。
現在の私たちにとって森林を保全・活用し、緑化を推進していくことは、次世代に健全な地球を渡していく上で重要な課題です。

■グリーン・アート展示

30～50作品（平面、立体、映像）

環境に配慮し、自然をテーマにした作品製作を進めるアーチストの作品を展示。

モー娘。メンバーなどアップフロント所属タレント、アーチストによる作品展示も望まれる。

映像作品はレンタルのプロジェクタ、またはプラズマなどにディスプレイによる展示を予定

協力・協賛

テーマ「地球温暖化と国内の森」

*もう少しやわらかい表現にします

■森と水辺からの声

国内の森林保全にかかわるNPO・NGOによる参加型ワークショップ（出店無料）。

国産材を使った製品作りを行っている企業団体の製品展示・販売（出店有料、一定金額以上の売上げがあった場合は売上げの一部を主催に納入）

参加予定団体

■グリクリショップ

国産の素材にこだわり、国産材マーク使用基準に沿った製品作りを進めている企業・団体の製品を販売。出品無料、売り上げの一部（20％？）を開催費として納めて頂く

グリクリショップの什器は万博名古屋ささしまサテライト会場、エコライフプラザの物を流用。商品も引き続き販売するエコライフプラザからアップフロントの倉庫へ一時納めておく

協力・協賛

木の車ECO２号
子供たちに人気の実物大の木製カー。記念撮影の絶好ポイントです。

木のベッド
見た寝心地抜群。木のベッド

■森のパティオ
子供も大人も楽しむことの出来る国産木材製の遊具・楽器の展示

森の楽器
静岡のアーチストが制作した森の楽器の展示。来場者が自由に即興演奏。またアーチストによる演奏会も

地球号
正二十面体の国産間伐材製地球儀
ミニ地球号制作のWSも同時開催

木人５９３号
会場内を闊歩するラジコン・木製ロボット。イベント告知、募金活動にと活躍してくれます

積み木コーナー
国産の端材を使った積み木コーナー。お気に入りの積み木は持ち帰ったり、ワークショップの素材で使うのもOK

協力・協賛
株式会社榎戸材木店
株式会社帝国器材
株式会社影山木材

紙造くんでエコ紙漉体験
繊維のある物なら古着でもなんでもパルプ化してしまうミニ製紙プラント「紙造くん」を使った、東京都の間伐材製パルプや古着 を使った紙漉体験。

丸太切りに挑戦
東京都奥多摩の森からやってきた間伐材で丸太切りに挑戦。小さな林業体験です。
切った丸太は鍋敷き、コースターに、またワークショップの材料にもなります。

■グリクリワークショップ

コッパDEアート
シックハウス、シックスクール問題に取り組み、地球温暖化防止の面からも国産材の使用にこだわる建築、家具作りの現場から産出した端材を使っての作品作り。廃棄物である端材を通して物を大切にする心を育むこと、木のぬくもりにふれ森のことを学ぶことを目的としています。

ぼくのわたしの『宇宙船地球号』を作ろう
バッフ・ミンスターフラー博士の提唱した「アースゲーム」のゲーム板でもあるダイマクションマップの展開図に、好きなメッセージを載せて組み立てます。ちょっとコツがいるので大人でも楽しむことが出来ます。完成すれば掌に乗るペーパークラフトの地球のできあがり。地球への思いがこもります。

ビンゴゲーム
木製のビンゴゲーム。見事ビンゴすれば花の種など素敵な景品が。

協力・協賛

環太平洋緑の環

緑の環で環太平洋をつないで環境保全を推進する。グローバルな視点から地球温暖化と森林破壊の問題を捉えます。愛知万博市民パビリオンに展示した映像とマップ・オブジェ展示

協力　NPOアースデイ・エブリディ

緑の募金

協力　社団法人国土緑化推進機構

会場内で緑の募金参加への呼びかけ
募金のキャラクター「どんぐりくん」着ぐるみ練り歩き
メインステージからの出演者による募金協力呼びかけ

緑の募金

地球温暖化と日本の森林展示

京都議定書を批准するためにも必要な日本の森林保全。国産木材の使用との関係を分かりやすく解説・展示。関連資料の配布。

協力　林野庁

ツバル・コーナー

地球温暖化による海面上昇の被害をもっとも被っている、太平洋の島、ツバル共和国の現状を映像・パネル、アート作品で紹介。
地球温暖化の持たらしている現実を知る機会を作ります。

協力　未分離デザイン研究所

国産材製の什器

グリリバ会場内の机、ベンチ、遊具などは国産材マーク基準に合格した国産材製の物が使用されます。

剪定枝を利用した案内板

Green Creators Network